教育委員会だより

教 育　NOW

令 和 4（2022）年 6 月
教育委員　宇都宮 通孝

本号のテーマ ：「スマホの魅力と読書の楽しさ」

スマホデビューしたのが、今から 1 年半前の 2020 年 12 月末です。妻の方が先にスマホを購入し、孫の動画などを見て楽しんでいました。一緒に見ればいいし、今使っているガラケーで十分だと思っていました。この年の 12 月に佐久市教育委員会生涯学習課で今後の在り方を検討するために生涯学習についてのアンケートがありました。絵手紙教室に通い、生涯学習の楽しさを感じていたのでアンケートに協力したいと思いました。パソコンを立ち上げ、生涯学習課のホームページからアンケートにたどり着き何とか入力しました。娘にも協力を仰ぎました。するとスマホから QR コードを読み取り、あっという間にアンケートの入力を終えました。QR コードの便利さに驚き、スマホでいろいろなことができることを知りました。一気にスマホが欲しくなり、娘に頼んで操作がしやすい簡単スマホを買ってきてもらい、遂にスマホデビューしました。

早速ＬＩＮＥを始めてみました。文字の打ち方がガラケーと違うので悪戦苦闘しましたが、何とかスマホデビューしたことを入力し送信しました。すると間もなく二人の方からスマホデビューを祝う文字が可愛いスタンプとともに送られてきました。これをきっかけにＬＩＮＥの友だち登録を家族や仕事仲間としました。ガラケーにもメール機能はあったのですが、文字数が限られていたので何回かに分けて送信する必要がありました。ＬＩＮＥは何文字も送信でき、友だち登録した複数とやり取りができるので有効活用しています。息子や娘たちと写真や動画を交換し合い、楽しんでいます。

最近知ったスマホの機能に驚いています。4 歳になった孫が植物に興味を持ち、花の名前を覚え始めました。花の写真を撮り、レンズというボタンを押すとその花の名前が出てくるアプリがスマホに入っていることを知りました。そのことを孫に伝えるととても喜びました。子どもってすごいなあと感じることですが、あっという間に写真からそのアプリを立ち上げる操作方法を覚え、私よりも早く花の名前にたどり着くようになりました。スマホの便利さに驚くとともに、その魅力を感じています。

しかし、スマホの弊害を感じ始めています。スポーツの途中経過も結果もスマホで検索すればすぐにわかります。しかも色々な情報も入っているので読んで更に新しい情報を読もうとしてしまいます。ＬＩＮＥが来ると嬉しくなって、直ぐに入力して返信しようとします。妻を見ると、同じようにスマホのＬＩＮＥに入力しています。夫婦の会話が減ってきたことを感じています。気をつけなければと思います。

学校に勤務していた今から 7 年ほど前の出来事です。仲の良い小学 5 年生の女子 3 人組。親御さんの都合で連絡を取り合うため、3 人とも自分のスマホを持っていました。ＬＩＮＥでお互いがやり取りをしていました。ところが、3 人のうち一人が仲間外れにされました。「ＬＩＮＥを送ったのに、直ぐに返信がなかった。」「無視された。」というのがその理由でした。ＬＩＮＥのやり取りを楽しんでいた 3 人でしたが、常にＬＩＮＥに注目していなければならない状況に追い込まれてしまいました。スマホが子ども達の生活に大きな影響を与え、生活そのものを狂い始めさせていることを感じました。

先日見た病院の待合室での出来事です。電ＬＩＮＥ話予約できる病院でしたが、とても

混んでいて予約の時間になっても待つことになりました。小学生の姉妹が待合室に置かれている水槽の中の熱帯魚の様子を見て、二人で楽しそうに話していました。二人の母親は椅子に座ってスマホを操作していました。「何喋っているの。席で待てないならもう連れてこないわよ。」と母親は強い口調で二人を叱責しました。私はその場に居て、姉妹の熱帯魚を見る姿をほほえましく感じていました。待合室にいる人の迷惑になっている姿ではありませんでした。だから母親が叱責する必要はないし、叱責された二人がかわいそうだなと思いました。スマホを止めてどうして母親は熱帯魚を一緒に見ないのだろうと思いました。一緒に見て会話を膨らめることによって、二人の感性はさらに豊かになるのになあと思いました。

令和3年度に実施されたSaku Kids メディア Safetyの佐久市スマホ、タブレット、ゲーム機に関する児童生徒・園学校保護者アンケートの中に「平日、学習以外【ＳＮＳ、ゲーム、動画など】で平均どのくらいの時間、パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機等を使っていますか？」という質問があります。中学3年生(817人)を見てみると1～2時間が最も多く約210人、次いで2～3時間で約180人、中でも注目したいのが6時間以上と答えた生徒が約20人いたことです。平日夜の8時から使い始めたとしても6時間というと深夜2時。生活リズムが乱れ、学校の授業に集中できない姿が目に浮かんでしまいます。

自分の中学校、高校時代にはスマホという便利な機器はありませんでした。毎日勉強や部活に追われる日々で余裕がありませんでした。家庭の経済状況も厳しく、スマホがあったとしても親に買ってとはとても言えませんでした。便利になった今の世の中、もし自分が中学生や高校生だったらスマホを手にしていたでしょうか。「みんな持っている。持っていないと仲間に入れてもらえない。」と無理やり親にせがんでいたかもしれません。勉強や部活に必死になっている日々、スマホをいじっている余裕がない。でも持っていないと仲間に入れてもらえない。苦悩する日々を過ごしたと思います。古き良き時代、スマホがないときに中学生、高校生でいられて良かったなとしみじみ思います。

スマホの魅力に魅かれながらも、その弊害も感じている自分ですが、毎日楽しみなことがあります。それは、就寝前の読書です。小学生のとき読書の時間が好きで、先生がたまに図書館に連れて行ってくれるのを楽しみにしていました。しかし、本を借りるけれど家で読むことがほとんどなく、読み終えないまま返していました。中学生になっても勉強や部活に追われる日々で、読書に親しむことはありませんでした。ただ1冊パールバック作「大地」を図書館で借り読み始めたら面白くなって夢中になり、生まれて初めて徹夜して最後まで感動しながら読み終えたことをよく覚えています。高校生、大学生、社会人になってからも読書に親しむことがあまりなかったことを悔やみ、もっと本を読んでおけば物事を思慮深く考える自分になっていたかもしれないと思うことがあります。しかし、「大地」を読んだときの感動は忘れられません。定年退職して余裕が生まれてきた今、読書に親しみたいと思っています。佐久市には中央図書館、サングリモ中込図書館、臼田図書館、浅科図書館、望月図書館があります。コロナ禍においても感染症対策を施し、本が借りられるようにそれぞれの図書館が開かれています。わからないことがあって尋ねると、とても親切に職員の方が対応してくださるので、どの図書館に行っても気持ちよく本が借りられます。ありがたいです。

子ども達に自分が「大地」を読んだときの感動を体験して欲しいです。スマホの弊害を感じられるのもあの感動のおかげです。今スマホ全盛の時代ですが、読書の楽しさを味わった経験は必ず宝物になると思います。読書に親しむ環境が大切だと思います。そのために、月に一度各家庭で「スマホを止めて読書の日」を作って欲しいです。30分間、スマホを止めて家族みんなで読書に親しんで欲しいです。佐久市の図書館には魅力的な本がいっぱいあります。月に一度家族みんなで出かけてみませんか？